

8880

10  
陸軍省  
陸軍部

陸軍省

支那派  
連軍總  
司令部  
由經  
昭和拾七年九月八日  
總副報第一七四號

陸軍報告規程第七條ニ據ル首題ノ件別紙ノ通提出ス

陸軍大臣 東條英機 殿

昭和十七年八月六日

第三十九師團長

澄田 昧 四

特別報告提出ニ關スル件報告

廉六一副乙第一一九號

秘

陸軍省  
第十軍司令部  
由經

第十軍司令部  
由經  
署長  
副署長  
第九號

九又二號

陸軍省  
昭和十七年九月十九日  
17.9.19  
課長

陸軍省  
17.9.18  
課長

陸軍省  
17.9.21  
受123號  
衛生課

陸軍省  
昭和十七年九月十九日  
17.9.19  
課長

陸軍省  
17.9.17  
受27號  
兵務課

陸軍省  
昭和十七年九月十七日  
17.9.17  
課長

本籍地 山口縣熊毛郡光町大字光井一九八七

所屬部隊 野砲兵第三十九聯隊第一中隊

現役 昭和十五年徵集 陸軍一等兵

大正 [redacted] 生

一 發生年月日時

昭和十七年七月二十七日〇四二五

二 違反事項ノ概要

湖北省荆門縣楊家集ニ駐留七月二十六日部隊衛兵トシテ服務中  
續舎掛兼歩哨掛タル陸軍上等兵福田勇八ノ制裁ニ憤リ着剣セル  
三八式歩兵銃ヲ以テ同人ニ對シ軀骨綜合部ヨリ臀部ニ至ル貫通  
創ヲ受ケシメタルモノナリ

三 原因及動機

前記 [redacted] 一等兵ハ七月二十六日ヨリ翌二十七日ニ至ル間部隊衛

兵トシテ服務シ二十七日〇二〇〇ヨリ南「トーチカ」ニ番歩哨  
 トシテ立哨ス然ルニ交代時間タル〇三〇〇ニ至ルモ交代兵來ラ  
 ズ其ノ儘引續キ服務中〇四〇〇ニ至リ斷ク一番歩哨陸軍一等兵  
 岩谷鐵夫ガ交代トシテ來レルヲ以テ不審ヲ懷キツ、モ交代ヲ完  
 了シ衛兵所ニ歸リ右原因ヲ調査シタルニ自己ト交代スベキ三番  
 歩哨ノ陸軍一等兵内田玉喜ノ假眠シアルヲ知り直チニ同人ニ立  
 哨ヲ促セリ依テ内田一等兵ハ直チニ交代スベク立哨位置ニ到リ  
 タル爲南「トーチカ」ニハ一番、三番ノ兩歩哨立哨シアルコト、  
 トナレリ

之ガ爲國近一等兵ハ假眠シ得ズ控衛兵ニ服務中〇四二〇福田上  
 等兵ハ[ ]一等兵ニ向ヒ二名立哨中ノ一番歩哨岩谷鐵夫ヲ呼ビ  
 歸スベク命ジタリ[ ]一等兵ハ之ニ對シ直前迄二時間連續立哨

四  
處 置

シタル事ニ反感ヲ懷キアル夫先ナルニ依リ言語態度ニ於テ若干  
 巖正ヲ缺ク所アリ福田上等兵ハ一等兵ノ二時間連續勤務ニ  
 依ル疲勞ニ鑑ミ速ニ控衛兵ヲセシメ假眠ニ就カシムベク配慮シ  
 アルニ拘ラズ之ヲ解セザル一等兵ノ動作ニ憤激ヲ覺エ呼聲  
 ス爲衛兵所ヲ立ち出タル一等兵ニ對シ數回ノ制裁ヲ加ヘタ  
 リ  
 茲ニ於テ一等兵ハ興奮ノ餘リ逆上シ右事件ヲ惹起シタルモ  
 ノナリ

加害者ハ部隊ニ於テ留置シ第十一軍々法會議長官宛搜查報告ヲ  
 ナシ被害者ハ第二野戦病院ニ入院セシメ加療中  
 斯ノ如キ事件發生ハ衛兵司令ノ指揮掌握不十分ニ基因スルモ上

級幹部ノ下級幹部ニ對スル監督及教育不十分ニ依ルヲ以テ聯隊  
長ヲシテ下級幹部教育ノ徹底ヲ期ス

責任者ノ處分

目下調査中ナリ

参考事項

事件當日ハ部隊主力ハ第一期教育檢閲ノ爲掇刀石（揚家集北方  
十八軒）附近ニ出動ノ爲人員僅少ニ餘リ歩哨ノ一部竝ニ歩哨掛  
一名ヲ減シアリ之ガ爲歩哨交代経路ヲ一部變更スルト共ニ北「  
トーチカ」ノ歩哨交代ハ歩哨單獨ニテ交代セシムル如ク指示シ  
アリ之ヲ歩哨掛ガ感違ヲナシ衛兵所ニ一番近キ南「トーチカ」  
歩哨ヲ單獨交代セシメタルモノナリ